

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（12月）

留学先大学：浙江大学

名前：吉居夏美

【はじめに】

クリスマスも終わり、もうすぐ2019年が終わろうとしています。と言っても、中国では日本や他の国々に比べると、クリスマスはあまり盛大に行われないうと、年明けも旧正月（今年は1月25日辺り）の方が重視されているので、あまり年の終わりという感じもしません。また、帰国までついに1か月を切り、毎月言っているような気がしますが、本当に時の流れは速いなと感じます。今月は上海、南京への旅行と、非常に便利で安い中国での生活について書きたいと思います。

【上海旅行】

今月の初めに、国際地域学部の友達が上海に遊びに来てくれました。上海ディズニーランドや豫園、田子坊、南京東路、外灘など有名な上海の観光スポットに行き尽くしました。上海には観光地がたくさんあり、公共交通機関も大変充実しているので、とても観光しやすく、楽しかったです。何より、久しぶりに会った友達と一緒に旅行できたのが何よりも嬉しかったです。個人的には、上海ディズニーランドと豫園に感動しました。上海のディズニーランドは初めて行ったのですが、平日で空いていたこともあり、たくさんアトラクションに乗れたのと、そのアトラクションの一つ一つが最高に面白かったです！特にパイレーツオブカリビアンはとても映像が綺麗で、迫力もあり、とても感動しました。もう東京ディズニーランドのパイレーツは乗れないなと思いました（笑）さらに豫園の夜の景色はとても美しく、ライトアップされた建物が立ち並んでおり、中国らしい空気感を味わうことができました。そして、夜はクルージングで最高の夜景を見ることができ、最高に充実した旅行となりました。

また、年末には家族が上海と杭州に来てくれて、案内しました。上海は一度行っていたので、前よりスムーズに案内することができ、ハードスケジュールでしたが、家族にもとても満足してもらえました。





【南京旅行】

中旬ごろに、日本人の友達と二人で1泊2日の南京旅行に行きました。南京までは、**高铁**で約2時間ととても近かったです。10月に行った蘇州もそうですが、杭州の周りは魅力的な都市がたくさんあり、そこまで時間をかけずに行くことができるので、ここも杭州の良いところの一つだと思いました。

今回の旅行の目的は、南京名物である**鴨血粉丝汤**を食べることと南京大虐殺記念館に行くことでした。**鴨血粉丝汤**とは、鴨の血を固めて作られた豆腐のようなものが入った春雨の入った麺料理です。私は中国に来て初めて食べたこの**鴨血**が大好きで、絶対にこの料理を食べてみたいと思っていました。有名店に行くと、本当に大行列ができていて食べるまでにすごく時間がかかりましたが、味は本当においしかったです。スープの味も優しく、日本人が好きな味だと思います。結局、二日連続でこの**鴨血粉丝汤**を食べました。南京に行かれた際にはぜひ食べてみてください！



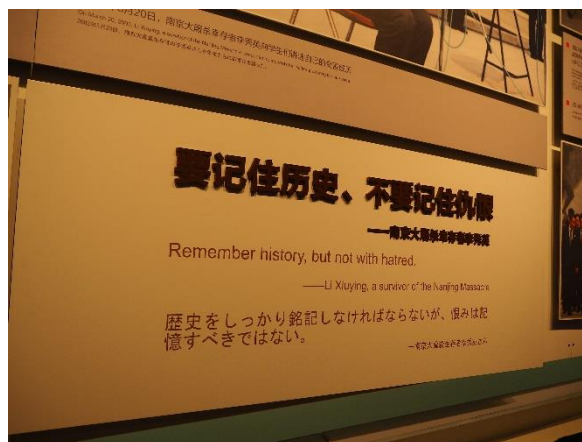
そして二つ目の目的は南京大虐殺記念館です。歴史の授業で習った“南京大虐殺”という事件についての記念館ですが、実際にどのような展示物がどのように展示されているのか気になり、行ってきました。しかし結論から言うと、この記念館は私の想像を遥かに超えた内容と展示物の数々でした。まず、来館者の数です。来る前は、この事件は歴史上で中国国

民にとってショッキングな事件についての記念館のため、そこまで来場者は多くないだろうと思っていましたが、行ってみるとセキュリティチェックを通るのに大行列。特に中学生や高校生くらいの団体が多く、館内も常に人ごみの中をかき分けて進むほどでした。中に入ると、犠牲者の方々と生存者の方々の名前と顔写真が壁一面に貼られており、奥に進むと、南京事件のいきさつが時系列で英語、中国語、日本語で丁寧



説明してあり、そのいきさつに伴って、当時の新聞記事や武器、写真などが展示されていました。中でも最もショッキングだったのが、当時の南京市民の被害についての記事です。そこには、私が中学、高校時代には習ったこともなかった残酷で卑劣な被害の数々、生活や大事な人を奪われた何も悪くない一般市民の悲惨な姿など、本当に残酷な被害の数々が展示してありました。今を生きている自分は何も悪くないのはわかってはいましたが、同じ日本人として、展示物を見れば見るほどなぜか申し訳ない気持ちが溢れ、何度も涙がこぼれそうになりました。来館者の中には、まだ5歳くらいの子供達もいたので、その親が展示物を子供に教えているのを見て、とても悲しくなりました。どれだけ昔に起こった事件でも、こうやって後世に受け継がれていくのだと思いました。少し辛い思いはしましたが、なかなかできる経験でもないと思うので、今回訪れることができ本当に良かったなと思いました。

杭州に戻ってから発覚したのですが、南京入城が起こったのが1937年12月13日。私たちが南京に行ったのはなんと12月14日。タイミングが見事にドンピシャでした。この日程であったからこそ、来場者の数もとても多かったのかなと思いました。



さらに南京では、おいしいグルメも楽しみました。先程の鴨血粉丝汤の他に生煎（焼き小

籠包や湯包（小籠包みたいなもの）、もちろんタピオカも飲みました！中でも、焼き小籠包は大学の食堂や普通の飲食店でもよく見かけますが、ここで食べた焼き小籠包が今までで一番おいしかったです！南京に行かれる方は本当に是非食べてほしい…。

その他、孫文の墓である中山陵や孔子を祭る廟である夫子廟、玄武湖公園、総統府など多くの観光地に行くことができました。この旅行では本当によく歩いたので、2日間で合計約7万歩歩きました（笑）中国に来てから本当によく歩いているなと思います。



↑湯包（小籠包のようなもの）



↑生煎（焼き小籠包）

【便利で安い！普段の生活について】

ここで今更ですが、中国での普段の生活についてお話ししたいと思います。過去の報告書でも少し話したことはありますが今回は、とても便利なレンタル自転車、電子決済、そしておいしくて安い食べ物について詳しくお話しします！

まずレンタル自転車についてです。写真のように町中の至るところに自転車が置いてあります。この自転車は誰でもその場でQRを読み込んで、15分1円で利用できます。（QRを読み込んでの決済なので、AlipayやWechat payを利用できる人しか使用できませんが。）一応自転車によって使用できる区間は決まっているのですが、だいたい自転車で行くような範囲は区域内なので問題ないです。また、自転車にも種類があって、普通の自転車と電動自転車があって、電動の方は少し高いですが、原付並みに漕がなくても進むので、とても楽しいです。さらに、1か月間2時間乗り放題という会員プランがあり、11元ほどで会員になれたので、夏や秋のよく利用した時期はこの会員プランに入っていました。最近では寒くなって来たのでほとんど乗っていませんが…。とにかく色々な所に出かけるのに交通費や時間を気にせずに移動ができ



るので本当に便利です。

次に、電子決済についてです。以前の報告書でも少し書いたことがあるかもしれませんが、中国では支払方法のほとんどが電子決済です。

「こんなにこじんまりした小さな店も!？」というくらいどこのお店に行っても QR を読み込んだり、自分の QR を読み込んでもらったりして支払いを済ませます。まず現金を持ち歩かなくていいことと、いちいちお金を数える手間が

省けること、そして何より割り勘の際などは非常に便利です。現金で細かい小銭のやり取りをする必要なく、QR で読み込んで送りたい金額を入力するだけで、いつでもどこでも友達にお金を送金することができます。日本でよく聞く LINE Pay や Paypay でも同じようなことができるのですが、私は日本にいるとき使っていなかったため、この便利さは衝撃的でした。さらに、多くの飲食店では、机に QR が貼ってあり、店内に入ってその QR を読み込んでメニューを見て注文し、会計もその場で済ませることができます。

主に電子決済で使われているのは Alipay と Wechat pay ですが、杭州には Alipay の本社があるため、圧倒的に Alipay の方が多く使われています。ですが、北京など他の都市によっては Wechat pay が主流のところもあります。また、Alipay のアプリがあれば何でもできます。例えば、電車や飛行機のチケットを取ったり、学生カードにお金を入金したり、携帯の GB の残量を見たりチャージしたり、タクシーを呼べたり、商品を買えたり、天気予報を見たり、このアプリを持っているだけで他にも色んなツールを利用することができます。中国人の人に聞くと、「財布は落としても何も問題ないが、携帯を落としたら本当に大変」と言います。私も普段外出するときは携帯と部屋のカードしか持たないので、日本に帰ってもこのままキャッシュレス生活を続けそうです。

欢迎使用



微信支付

次に、食べ物についてです！9月の報告書にも書きましたが、とにかく安く、食堂を利用すると1回の食事を約7~20元（約100~300円）で済ませることができます。料理の内容も、主食は日本と同じく米で、お米も普通においしいです。米以外にも麺料理や肉まん、餃子、炒飯、また牛丼やうなぎ丼が食べられる食堂もあります。おかずも食堂では中国料理がほとんどですが、日本の味と似ているものも多々あり、食事については一切困ったことはありません。食事おいしいというのは長期滞在する中で本当に大切なことだと思います。一つ言うなら、全体的に脂っこいものが多いことと、にんにくを大量に使った料理が多々あることくらいです。また、食べようと思えば洋食の食堂もあり、学校の周りに韓国料理屋さんや日本料理屋さん、メキシコ料理屋さん、イタリアンなど色々な料理を食べることができます。ただ、値段は中国料理に比べると少し高いです。（高いと言っても日本よりは全然安く、1000円くらいで焼き肉をお腹いっぱい食べられたりします。）食堂も、キャンパスの中にくつつもあり、私の寮の近くには少なくとも6つの食堂があるので、メニューに飽きることはありません。



私が普段一番食べているのが**麻辣烫**です。**麻辣烫**のお店は中国にはたくさんあり、店内には写真のように野菜やお肉、麺などの具材が並んでおり、ボウルに自分の好きな分だけ食材をとって、グラムによってお金を払います。辛さも選ぶことができ、自分で好きな具材を好きなだけ取れるので、野菜もたくさんとれます。私は直接店舗に行くこともありますが、**饿了么**というUberEatsのようなデリバリーを使って食べることが多いです。写真はそのデリバリーで頼んだものです。私は辛い食べ物が好きなので、この**麻辣烫**は週に4日食べるほど大好きです。

また、フルーツもとても安くおいしいです！大学で近くのフルーツ屋さんで、色んな種類のカットフルーツが買えます。私はほぼ毎日買って食べています。



↑ 麻辣燙屋さんの店内の様子



↑ 麻辣燙

【最後に】

今月も旅行が多かったのもあり、一瞬で時間が過ぎたような気がします。帰国まで1ヵ月を切ったこともあり、徐々に帰国後の動きや計画を考えるようになりました。就活についても、今できることだけでもやらなければと思い、少しずつですが進めています。そのせいもあり、最近是中国語の勉強も含め、やることが多く、割と忙しい日々を過ごしています。そして勉強だけでなく、残りの留学生活で悔いが残らないように、行きたいところには行き尽くそうと思っています。そのおかげで帰国までもう予定がパンパンですが、全力で楽しんで、駆け抜けたと思います！

来月は期末テストもあるので、最後にしっかり締めくくれるようにしっかり勉強も頑張ります！

今回も長くつたない文章になってしまいましたが、最後まで読んでくださりありがとうございました。それではまた来月！再见！